

会報

No. 34

平成6('94)年10月5日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL(075)771-0069

会長就任あいさつ よりよい図書館づくりを

亀岡市立図書館長 高向 洋祐

本年度より、橋本實前会長さんの後を引継ぎまして会長職の仕事をさせていだいておりましたが、前会長さんが立派な方であっただけにその責任の重大さを痛感しております。

近年、図書館は生涯学習の場として見直され、全国的に整備される図書館が急増しておりますが、反面、気にかけていても市町村の財政事情から整備できないなど、様々です。

府内の図書館関係で働いている皆様方もそれぞれの職場において色々悩みを抱えておられると思います。

「資料があつて、職員がいて、施設がある」図書館を整備するための予算をどのように確保するか、他の図書館とどうネットワークするか、読書離れの傾向にあるといわれる人々をどのように図書館に引きつけるか、図書館の未来をどうするか等、問題は山積していると思います。図書館等連絡協議会会則でも、協議会の目的は事業等の振興および相互間の協力をはかることとなっておりますので、そうした問題や悩みが一つでも解消できるように話し合ったり研究できる場を設ける必要があると考えてい



ます。また、最近マルチメディアを駆使して情報通信が行われ、ネットワークが実施されていますが、公共図書館についてもより利用を拡大するために職域を越えたネットワークを行って、少しでも多い情報が受けられるように努力していく必要がでてきております。すでに整備された図書館、進行中の図書館、図書館には至らぬ図書室がありますが、今後は、情報通信時代に向けてお互いに協力してネットワークを組んでい

かなければならないと考えます。私は図書館に働いて五年余りにすぎませんが、会員の皆様方の御意見等を参考に今後の協議会の運営に生かしたいと思っております。図書館に関わる問題点、情報等をお寄せいただき、御一緒に検討を行いよりよい図書館作りを目ざして共に頑張りたいと考えています。

亀岡市も、図書館情報ネットワークシステムの指定を受けシステム作りを取組んでおります。この方面についても皆様方の御支援をよろしく願います。

予告

第三回京都図書館大会

館種を越えて京都の図書館職員が集う年に一度の場です。

テーマ 図書館利用のさらなる発展をめざして

日時 十二月一日(木)
十三時~十六時半

場所 同志社大学今出川校地
主催 京都府図書館等連絡協議会
日本図書館協会

井手町図書館オープン

井手町のまちづくり推進事業により建設された、住民待望の町立山吹ふれあいセンターが、七月十四日開館しました。三階建のふれあいセンターは、延床面積一、四八七㎡、一階の図書館は六二二㎡で、生涯学習の拠点となる複合施設です。

図書館の主な面積は、約三万冊の図書を開架する三七〇㎡のフロア、二万冊以上の資料を収蔵する四八㎡の電動集密式書庫、他にロッカー室、車庫等専用部分八〇㎡、風除室・展示ロビー等共用部分一二四㎡となっています。

開館当初の資料は、一般図書一四、六〇〇冊、児童書九、九〇〇冊で図書は二四、五〇〇冊、視聴覚資料はVTR、LDなど一、二二四タイトルと多くおいています。

図書館での資料管理は、パーソナルコンピュータで行っています。

主装置一台、カウンター端末機一台、利用者端末機二台、ハンデーターミナル二台を保有し、日常業務の処理が迅速、

正確で利用者にも大変喜ばれています。特に利用者用の二台はタッチパネル式ディスプレイでだれでも手軽に検索できるとともにコンピュータ図鑑の読取り(CD-ROM)や全国出版情報の検索、イメージスキャナーによる映像も可能な最先端機種です。

これらのコンピュータシステムは今後の図書館サービスには不可欠ですが、利用者がコンピュータを身近に感じ、気軽に利用するために、人口一万人以下の町村では数少いコンピュータ図鑑を二十一タイトル揃えています。効果は抜群で二台の端末機はフル回転しています。

開館から八月末まで、登録率一七%、貸出人数九千人余、貸出冊数二、七八四冊、開館日数四十一日



住民一人当たり一・四冊の利用率と井手町図書館はまず好調なスタートができました。

図書館めぐり

●●●●● 峰山町立図書館 ●●●●●



公共図書館として、所蔵する震災資料や歴史資料、蔵書等、丹後一円の人々にも利用され、文化ゾーンの一機能を発揮してきました。

町の人口一万四千余、図書館貸出登録者数二千名、貸出冊数六万八千冊(H5統計)利用者の八割は顔と名前が館員側でわかるとい、まさに田舎の町ならではの図書館です。

平成三年から十六の地区へBMの運行も始めました。又、図書館として、毎年、町内小中学生を対象に実施している「読書感想文募集」も、今年で第三十五回という歴史をもつ等、地域と共に、地域に奉仕する図書館として懸命に頑張っています。

KTR峰山駅を下車すると、左前方に小高い丘が見え、その丘の上に府立丹後文化会館と峰山町中央公民館があって、一つの文化ゾーンを形成しています。この丘は弥生環濠遺跡で有名な「扇谷遺跡」です。峰山町立図書館は、この丘上の中央公民館三階にあり、「古代丹波王国」の中心の地ともいわれる地域を眼下に眺望することができます。

図書館がこの場所に移ってきたのは昭和五十五年ですが、開設は昭和二十七年で、以後、丹後震災記念館等を経て現在地十五年目です。

峰山町立といえ丹後六町唯一の



専 門 委 員 会 ニ ュ ー ス

〔研修研究委員会〕

委員長

村上 敏明

京都市向島図書館

委員

梅原 武

京都市左京図書館

齋藤 隆司

長岡京市立図書館

田中 芳子

城陽市立図書館

森本三貴子

久御山町立図書館

出口 宏子

八幡市立八幡市民図書館

藤井 洋子

田辺町立中央図書館

生澤 誠一

木津町中央図書館

大西 意典

加茂町立図書館

坂田 智子

精華町立図書館

鵜飼 弘子

亀岡市立図書館

河田美奈子

舞鶴市立西図書館

下戸 明夫

峰山町立図書館

矢部 弘毅

京都ライトハウス点字図書館

〔相互協力委員会〕

委員長

岡田 友明

京都府立図書館

委員

小川美恵子

京都市中央図書館

岡野 英彦

向日市立図書館

平田 浩三

八幡市立八幡市民図書館

北川 智子

田辺町立中央図書館

神田 厚

木津町中央図書館

山本 美幸

亀岡市立図書館

谷 義明

福知山市立図書館

岡本 知子

宮津市立図書館

小西みゆき

京都府立総合資料館

小林 育子

京都府立図書館

小山 雄一

宇治市中央図書館

藤原 孝子

宇治市中央図書館

原田 正彦

京都市向島図書館

河原 忠 京都府立総合資料館
西村 隆 京都府立図書館

◎ 相互協力委員会より

四月から実施した「FAX版WANTED」は図書館間の相互協力活動の要として重要な役割を担っています。しかし、この半年間の実施状況を顧みまますと達成率の問題など幾つかの改善すべき課題もあります。今年度は「WANTED」を定着させるために、実態調査の検討を始め、相互貸借事業について担当者間の交流会も計画しています。今後の段取りとしては相互協力の推進を図るために、年内に委員会を開催し、事業の具体化について協議します。

◎ 研修研究委員会より

平成六年・七年度の研修研究計画の検討のため、さる十月五日田辺町立中央図書館で、研修研究委員会を開催いたしました。今年度の総会でも、職員研修の大切ながことが強調され、今年も一泊研修を開くことになりました。この一泊研修をより充実し内容にするために、委員会では、目下検討中です。二月上旬を目途に考えております。関係各位のご協力をお願いします。さらに、児童奉仕などのグループ活動も平成六・七年にかけて具体化を図るよう取り組んでおります。

（追）一泊研修予告

二月二日（木）、三日（金）に八幡市内で開催を予定しており、主なテーマとしては資料選択、業務改善などを検討協議中です。

◎ 広報委員会より

九月九日に宇治市中央図書館で第一回の会合をもちましたが、次のことがらを確認しあいました。

- 会報の年三回発行を踏襲する。
- 会報の使命は情報提供と会の活動記録である。
- 会報紙面の主構成と記事取材編集の分担。
- 次回は十一月二十五日に、府立総合資料館にて開催。

● 編集子 ●

「京図連」、「京図協」の二通りで呼ばれている当協議会の略称、いっそのこと「京図連協」と統一すればどうでしょう。広報委員会ではすでに使用していますよ。

